

おびひろ男女共同参画プランについて、34の施策の方向ごとに、11の推進目標(目標値に対する達成率でaからdの4段階で判定)と事業の取組状況を踏まえ、推進状況の評価を実施(判定はAからDの4段階評価)
※概要版については基本方向ごとについて整理

【施策の評価結果】

評価	平成26年度		前年度(参考)	
	項目数	割合	項目数	割合
A 施策は順調に進んでいる	8	23.5%	7	20.6%
B 施策はある程度進んでいる	25	73.5%	27	79.4%
C 施策はあまり進んでいない	1	3.0%	0	0.0%
D 施策は進んでいない	0	0.0%	0	0.0%

【基本目標】

人権の尊重と男女共同参画の実現に向けた意識の改革

【基本方向】

男女平等の視点に立った教育の推進

【施策の方向】

- ①家庭における男女平等教育の推進・・・ B ③地域における男女平等教育の推進・・・ B
②学校における男女平等教育の推進・・・ B

【推進目標の状況】

推進目標	基準値(基準年度) 目標値(目標年度)	判定	H25実績値 H25目標値
男女共同参画セミナー・男女共同参画講座の延開催回数(回)	57回(H13~H20) 85回(H22~H31)	a	35(10) 34(8.5)

※各年度の実績値はH22年度から各年度までの延べ件数
また、()内は各年度の件数

【主な取り組み(実績)(抜粋)】

- 男女共同参画セミナー・男女共同参画講座等の各種講座等の開催
- 家庭教育学級学習会の開催
- 学校における「いじめ・非行防止の5つの誓い」の作成・パネルの配布
- 教育相談講座の実施(スキルソーシャルトレーニング)

【評価の概要】

○家庭、地域においては、各種講座や、学習機会の提供を通して男女平等意識が徐々にではあるが浸透
○学校における人権尊重、男女平等の観点に立った教育の推進により、いじめの問題を中心として児童生徒の主体的な活動が進められている

【課題と今後の取り組み方向】

○家庭、地域においては、固定的な性別役割分担意識の解消に向け、各種講座や、学習機会の提供を通して男女平等意識を浸透
○男女共同参画に関する市民意識調査結果の周知や活用
○学校における学校教育全体を通じた人権尊重の態度の育成、教職員の研修を計画・実施 など



男女共同参画の啓発

- ①広報・啓発活動の充実・・・ B ③メディアにおける男女共同参画の推進・・・ A
②調査研究の充実・・・ B

推進目標	基準値(基準年度) 目標値(目標年度)	判定	H25実績値 H25目標値
男女共同参画セミナー・男女共同参画講座の延開催回数(回)	57回(H13~H20) 85回(H22~H31)	a	35(10) 34(8.5)

※各年度の実績値はH22年度から各年度までの延べ件数
また、()内は各年度の件数

- 女性情報コーナー、男女共同参画週間パネル展、情報誌の発行、フリーペーパーへの広告掲載、広報おびひろへの男女共同参画に関する事業所意識調査結果掲載、国の男女共同参画の視点からの公的広報の手引きの活用による市職員研修
- 事業所雇用実態調査・男女共同参画に関する市民意識調査
- 有害図書等の監視・環境浄化活動
- 携帯電話に関する実態及び意識調査の実施

○各種広報・啓発活動などを行い、市民意識調査の実施結果からも男女平等意識が徐々に浸透
○男女共同参画の視点に配慮した発行物の表現等の市職員研修の実施
○携帯電話販売店への有害図書等の立ち入り調査の強化
○携帯電話等に関する調査結果を学校資料提供

○事業所雇用実態調査で女性の登用状況の把握による女性の活躍の場の拡大
○情報誌の町内会等への回覧の継続実施などによる、固定的な性別役割分担意識の解消のための意識啓発
○スマートフォン等による非行などから青少年を守るための啓発活動など

女性の人権を尊重する認識の浸透

- ①性の尊重についての認識の浸透・・・ B
②母性の重要性の認識の浸透・・・ B

推進目標	基準値(基準年度) 目標値(目標年度)	判定	H25実績値 H25目標値
配偶者等からの暴力に係る相談件数(件)	63件(H19) 89件(H31)	a	226 71

- さわやか性相談、性に関する健康教育
- 学校における非行防止教室・薬物乱用防止教室の実施
- 薬物乱用防止の各種啓発
- 街頭指導
- 母子健康手帳交付時における禁煙指導
- 各種健診、両親・育児教室、家庭訪問の実施

○喫煙被指導者数の大幅減、薬物乱用被指導者数なし
○小学校での薬物乱用防止教室の増加、
○各種健診や乳幼児に関する相談支援の実施
○DV相談件数の増加などから、性の尊重についての認識がまだ十分浸透しているとはいえない状況

○小学校における薬物乱用防止教室の実施推進
○薬物乱用等の若年層を対象とした道等との連携による啓発
○母性相談や乳幼児健診などの相談支援体制の充実 など

女性に対するあらゆる暴力の根絶

- ①女性への暴力根絶についての認識の浸透 …… B
- ②セクシュアル・ハラスメントの防止 …… B
- ③被害者への相談・支援体制の充実 …… A

【推進目標の状況】

推進目標	基準値(基準年度)	判定	H25実績値
	目標値(目標年度)		H25目標値
配偶者等からの暴力に係る相談件数(件)	63件(H19)	a	226
	89件(H31)		71

【主な取り組み(実績)(抜粋)】

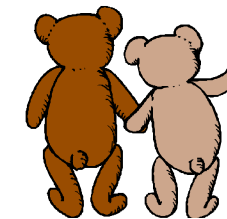
- デートDV予防講座、DV防止講座、パネル展
- フリーペーパーにDV防止・セクハラ・パワハラ防止に係る啓発広告掲載、DVパンフレットの配布
- 市役所におけるセクハラ・パワハラ防止マニュアルの周知、相談窓口設置
- 女性相談・ひとり親相談・児童虐待相談(24時間電話相談)の実施

【評価の概要】

- DV防止の啓発、高校生などに対するデートDV予防講座等を開催し、DVの予防と根絶に向けた取り組みの実施
- DV相談件数が増加し、潜在的な被害者の掘り起こしに一定の成果はあったものの、発生そのものを減少させることが課題
- 女性相談の相談体制の充実、ひとり親相談による自立支援に取り組んでおり、児童虐待について虐待に至る前の早期相談の増加
- セクハラ・パワハラについては各種啓発に努めているが、セクハラ対策に取り組んでいない事業所はまだ多い

【課題と今後の取り組み方向】

- DVの発生そのものの減少のため、デートDV予防講座・パネル展の開催や、市内全高校生徒へのデートDV防止パンフレット配布により意識啓発
- DV被害者の負担軽減のため、庁内関係各課の連携の強化
- セクハラ・パワハラ防止講座の開催、市HPの充実など啓発強化など



さまざまな分野への男女共同参画の促進

政策・方針決定過程への女性の参画促進

- ①審議会等への女性の参画促進 …… C
- ②方針決定過程における女性の参画の促進 …… B
- ③農業経営活動への女性の参画支援 …… B

推進目標	基準値(基準年度)	判定	H25実績値
	目標値(目標年度)		H25目標値
審議会等への女性の参画率(%)	31.5%(H19)	c	33.8
	40.0%(H31)		35.2

- 審議会等への女性の登用促進を各課へ周知・啓発
- 女性人材バンクによる女性人材情報提供
- 事業所雇用実態調査
- 市職員の管理職の女性割合(10.8%)
- 各種研修会、農業者グループ活動助成事業、農産物小規模加工研究会、起業に関する社会参画支援講座の開催
- 人・農地プラン検討会(委員5人中2人女性)

- 審議会等委員への女性登用状況調査等において、女性の登用促進について、周知・啓発を実施
- 女性人材バンクの登録が少なく、活用があまりされていない
- 審議会等への女性の参画率が前年度より低下し、目標値を下回る
- 事業所雇用実態調査による男女共同参画の意識啓発の実施
- 市役所における女性職員の職域拡大・登用に取り組んでおり、女性管理職比率は増加
- 人・農地プラン検討会での女性委員の参画や各種研修会に女性が参加

- 審議会等への女性登用促進については、職指定や団体推薦等の選出方法の場合進みにくいことから、各課への働きかけや女性人材バンクの登録情報を充実・活用を推進
- 農業研修等の活動に女性の参加促進
- 市民会議での農業関係委員に男女共同参画の取り組み等の情報提供 など

地域社会への男女共同参画の促進

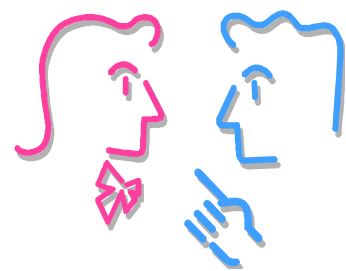
- ①社会活動への参加促進 …… A
- ②ボランティア活動の促進 …… A
- ③地域リーダーの養成 …… B
- ④国際交流・国際協力の促進 …… A
- ⑤防災分野における男女共同参画の推進 …… B
- ⑥まちづくりにおける男女共同参画の促進 …… B

推進目標	基準値(基準年度)	判定	H25実績値
	目標値(目標年度)		H25目標値
審議会等への女性の参画率(%)	31.5%(H19)	c	33.8
	40.0%(H31)		35.2

- 市町連と連携し「町内会活性化マニュアル」の発行
- 子育て世代が利用しやすい公共施設的环境づくり(ベビーシート、託児室等)
- 子どもの居場所づくり事業、ボランティア養成講座
- コミセン等の協働コーナー、市役所のコミュニティルームの設置
- 男女共同参画推進員活動・情報誌の町内会回覧
- 国際理解・国際協力の促進
- 男女共同参画に関する国際的な情報の収集・提供
- 市防災会議(女性委員2人増加、委員27人中女性委員3人)
- 市民提案型協働のまちづくり支援事業

- 町内会活性化マニュアル等による女性役員登用の提言の結果、女性町内会長は19町内会と一定の効果
- 子育て世代の人たちが利用しやすい公共施設的环境づくりに努めており、会議や講座の内容などを考慮して、託児や夜間・休日開催の実施
- 農業者の女性の地域活動等への参画や障害福祉の活動拠点(市民活動プラザ六中)の利用増
- 全小学校で子どもの居場所づくり事業実施、ボランティア数も増加
- H25年度から新たに町内会への男女共同参画情報誌の回覧による啓発
- 男女共同参画推進員が減少傾向
- 各種交流事業等を通じた国際理解を推進しているが、幅広い認知に工夫が必要
- 防災会議条例改正による女性委員の増
- 市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募件数が順調に推移、女性提案も多く、男女共同参画の視点の提案もあり

- アクティブシニアや若者などへの情報収集・提供による活動しやすい環境づくり
- 引き続き、町内会への男女共同参画情報誌の回覧等による啓発
- 男女共同参画推進員の増に向けた様々な機会を通じた呼びかけ・活動内容の検討
- 在住外国人と地域住民の自発性の喚起による国際交流ボランティア活動への参画
- 市民防災・現在懇話会の継続による女性の意見反映 など



男女がともに働きやすい環境づくり

男女がともに働くための環境整備

- ①ワーク・ライフ・バランスの普及・浸透 …… B
- ②育児支援体制の充実 …… B
- ③家庭生活への男女共同参画の促進 …… B

【推進目標の状況】

推進目標	基準値(基準年度)		判定	H25実績値	
	基準値	目標値(目標年度)		H25実績値	H25目標値
育児休業制度を規定している事業所の割合(%)	25.2%	(H19)	a	47.3	27.4
	31.0%	(H31)			

【主な取り組み(実績)(抜粋)】

- 男女共同参画セミナー・講座の開催、情報誌の発行、ワーク・ライフ・バランスに係る啓発資料等の配布、フリーペーパーにワーク・ライフ・バランス啓発広告掲載
- 子育て応援事業所登録制度、子育て応援事業所促進奨励金
- 低年齢児・延長・夜間・病後児・休日・一時保育、ショートステイ
- 放課後児童対策(児童保育センター、子どもの居場所づくり事業等)
- ひとり親家庭等日常生活支援事業
- 地域子育て支援センター、子育て応援ボランティア、先輩ママさんアドバイザー
- 親子料理教室、男の料理教室、両親教室、サンデーファミリー事業、彼と彼女のバランスご飯料理教室

【評価の概要】

- 子育て応援事業所の登録要件緩和により、登録数が増加
- 育児休業制度の普及と子育てしやすい環境整備の推進のため、子育て応援事業所促進奨励金の周知、利用促進
- 各種啓発等によりワーク・ライフ・バランスの普及・浸透に努めているが事業所等での普及・浸透がなかなか進んでいない
- 保育所での低年齢児の受け入れ枠の確保など保育サービスの充実
- 居場所づくり事業を市内全小学校で実施
- 両親学級、男の料理教室、親子料理教室などへの多数の男性参加

【課題と今後の取り組み方向】

- 子育て応援事業所促進奨励金の周知、利用促進
- 関係団体等と連携したセミナー・講座等の実施によるワーク・ライフ・バランスの普及・浸透
- 帯広市子ども・子育て支援事業計画を策定し、地域で子育てを支える環境づくり
- ファミリーサポートセンター事業の充実・子育て応援ボランティア登録増加に向けた事業周知 など

就労における男女平等の促進

- ①男女の均等な雇用と待遇の確保 …… B
- ②職場における男女平等の促進 …… B

推進目標	基準値(基準年度)		判定	H25実績値	
	基準値	目標値(目標年度)		H25実績値	H25目標値
育児休業制度を規定している事業所の割合(%)	25.2%	(H19)	a	47.3	27.4
	31.0%	(H31)			

- 事業所雇用実態調査
- 男女共同参画情報誌の発行、ワーク・ライフ・バランス及びセクハラ・パワハラ防止に係る啓発資料等の配布、フリーペーパーにワーク・ライフ・バランス及びセクハラ・パワハラ防止啓発広告掲載、広報おびひろへの事業所意識調査結果掲載
- 労働相談
- 農業関係各種研修会への女性参加

- 事業所雇用実態調査で意識啓発
- 育児・介護休業法等の普及・啓発をはかるため、啓発資料等の送付や啓発広告の掲載、子育て応援事業所促進奨励金の周知に努め、利用促進に取り組んでいるが、規模の小さい事業所などでの育児休業制度の導入が進んでいない
- 労働相談窓口での様々な労働問題の相談への対応
- セクハラ・パワハラについては周知・啓発に努めているが、セクハラ対策に取り組んでいない職場がまだ多い

- 事業所雇用実態調査の実施による意識啓発を継続
- セクハラ・パワハラに関する市HPの充実、防止講座の開催
- 子育て応援事業所促進奨励金の周知、利用促進
- 関係団体等と連携したセミナー・講座等の実施による働きやすい職場環境づくりに向けた事業所等への啓発 など

就業機会の促進

- ①就業支援体制の充実 …… B
- ②雇用・機会の情報収集・提供 …… B
- ③女性の再チャレンジ支援 …… A

推進目標	基準値(基準年度)		判定	H25実績値	
	基準値	目標値(目標年度)		H25実績値	H25目標値
母子家庭等自立支援制度利用者の就労率(%)	67.3%	(H18-20)	a	72.5	69.0
	72.0%	(H31)			



- 事業所雇用実態調査
- おびひろ・とち創業者・起業支援フェアの開催
- 農業関係各種研修会等の実施、農業者グループ活動助成事業
- 社会参画支援講座の開催
- 合同企業説明会の実施
- 職業能力開発協会への支援、人材育成支援事業補助金
- ひとり親家庭への就業支援

- おびひろ・とち創業者・起業支援フェアで情報提供・相談等
- ハローワークなどの関係機関と連携し、求職者支援制度の情報提供、職業訓練に係る情報の収集・提供
- 女性の起業・スキルアップに関する講座の開催
- 農業技術、経営技術向上のための各種研修会、農業者グループ活動助成事業の実施
- 人材育成支援事業で研修等に対する補助による経営者や社員の資質向上
- ひとり親家庭の自立を支援するための資格取得支援、就業相談、就業情報提供などを行っており、推進目標の実績にも表れている

- 創業・起業を継続して支援
- 再就業の促進をはかるため、関係機関と今後も連携して情報の収集・提供
- 社会参画支援講座により、女性の再就職等を支援
- ひとり親家庭の自立支援制度の周知
- 農業技術、経営技術向上のための研修会の充実やHP等による就業情報の提供 など

多様な生き方を実現する環境づくり

母子保健の充実

- ①保健相談や指導体制の充実 …… A
- ②保健・健康診査の充実 …… B

【推進目標の状況】

推進目標	基準値(基準年度)		判定	H25実績値	
	基準値	目標値(目標年度)		H25実績値	H25目標値
乳児家庭への訪問率(%)	37.6%	(H19)	a	95.0	76.0
	85.0%	(H31)			

【主な取り組み(実績)(抜粋)】

- 各種検診・健康診査、母性相談室、両親・育児教室、家庭訪問、歯科保健指導の実施
- 健康教育の実施

【評価の概要】

- 乳児家庭への訪問率が上昇
- 妊婦・乳幼児健診等による母子の健康保持増進や相談支援の実施
- がん検診の受診環境整備や託児付検診の導入等による各種検診・健康診査の目標を上回る受診率

【課題と今後の取り組み方向】

- 乳児家庭への訪問支援体制づくり
- 妊婦健診・乳幼児健診の相談や訪問活動による保健指導の充実
- 各種検診の託児付検診など受診環境整備 など

健康づくりの推進

- ①健康づくりの推進 …… A

推進目標	基準値(基準年度)		判定	H25実績値	
	基準値	目標値(目標年度)		H25実績値	H25目標値
健康相談の相談者数(人)	489人	(H19)	a	698	490
	増加	(H31)			

- 出前健康講座の実施
- 健康相談、栄養相談
- 各種検診・健康診査、母性相談室、さわやか性相談

- 出前健康講座での健康づくりの自主的な取り組みへの支援・相談
- 健康相談において心の相談も多く面接相談の増
- 母子の健康保持増進や乳幼児に関する様々な相談支援

- 健康相談の周知内容等の工夫、心の相談の自殺対策事業での積極的周知や関係機関との連携などによる支援の充実
- 母性相談室などの相談支援体制の充実 など

安心できる介護環境の整備

- ①介護の支援体制の充実 …… B
- ②高齢者や障害者に対する社会参画・自立支援 …… B

推進目標	基準値(基準年度)		判定	H25実績値	
	基準値	目標値(目標年度)		H25実績値	H25目標値
介護予防事業の参加者のうち、評価が向上・維持できた人の割合(%)	92.3%	(H19)	c	87.3	95.0
	95.0%	(H31)			
障害者雇用率を達成した企業の割合(%)	43.8%	(H19)	d	38.2	46.9
	50.0%	(H31)			

- 日常生活支援サービス実施
- 介護制度の安定した運営、介護サービス提供
- 総合相談窓口の設置、高齢者在宅サービス事業、認知症サポーター養成講座の実施・認知症家族の集い・茶話会
- 地域包括支援センターの設置、介護予防一次予防事業・二次予防事業の実施
- 老人クラブ、友愛訪問活動
- 高齢者バス無料乗車証交付
- 障害者の雇用促進フェア共催
- 福祉の広場、手話・要約筆記通訳者の派遣、障害者就労支援施設等からの優先調達、市役所職場体験実習
- UD住宅建設資金貸付、住宅改造補助、アドバイザー制度

- 障害者の自立した生活のための相談支援、各種福祉サービスの提供、個別支援の拡充
- ひとり暮らし高齢者の在宅サービスや地域密着型の施設サービスの充実
- 地域包括支援センターと連携した相談対応、認知症サポーター養成講座、きつきネットワークなどによる地域の見守り体制の充実
- 自主的な介護予防サークルの設立支援
- 単位老人クラブ・市老連への育成・運営支援
- 高齢者バス無料乗車証交付
- シルバー人材センターやハローワークとの連携により、高齢者の就業機会の確保や障害者雇用の促進
- 推進目標の障害者雇用率は下がったが、雇用者数は過去最多
- UDアドバイザーの住宅相談・改造件数が順調に推移

- 障害者に対する相談支援専門員の養成と拡充の要望と資質向上
- 高齢者が地域で安心して暮らすための支援体制づくりを進め、地域包括ケアシステムの構築
- 老人クラブ数と会員数の減少、高齢者の多様にニーズの把握、高齢者おでかけサポートバス事業の活用
- 障害者の雇用数は増えているが、障害者雇用率を達成した企業の割合が低下しており、ハローワーク等と連携した企業への理解を求めていく
- UD住宅の新築・増改築の貸付の利用低下のため、UD住宅の必要性の周知等の促進 など



生涯学習の推進

- ①学習機会や学習情報の提供 …… B

推進目標	基準値(基準年度)		判定	H25実績値	
	基準値	目標値(目標年度)		H25実績値	H25目標値
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数(人)	22,590人	(H19)	a	37,168	23,000
	23,000人	(H31)			
地域の指導者の登録者数(人)	138人	(H19)	d	116	160
	190人	(H31)			

- 学習・文化・スポーツ活動などの各種教室・講座の開催
- 指導者、団体情報のHPへの掲載
- 生涯学習情報誌の発行
- 農業技術センターを学習の場として提供、自主的な学習活動の支援、農業者グループ活動助成事業
- 優れた芸術・文化の鑑賞機会の提供

- 市民大学やコミュニティ講座の参加者は順調に増加
- 乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対して、学習機会を提供
- 農業技術センターを地域特色を生かした学習の場として提供、農産物小規模加工研究会などへの支援
- 発表・活動の場に参加する文化団体数・鑑賞事業の入場者数の増

- 講座等の参加者の順調な増加、講師や市民ボランティアの高齢化により、次世代への継承のため、講座の参加者の中から人材発掘の取り組み
- 地域の指導者の登録者数が目標を下回っているため、全庁的な連携による新規登録者の掘り出し
- 芸術文化の鑑賞機会の充実 など